

あい 逢  
愛 逢

第

13

号

特定非営利活動法人 愛逢

尼崎市小中島1-20-21

電話 06-6493-1424

FAX 06-6493-1443

発行責任者 坂本敬子

発行日 2006年10月16日

## ボランティア講座始まる!!

—尼崎市まちづくり活動支援事業—

NPO愛逢として、今年度もっとも力を入れた取り組みと位置づけて準備してきたボランティア講座が、開講しました。当初、30名の定員が集まるかどうか心配でしたが、豪華な講師陣と多彩なメニューもあってか募集開始と同時に申込みが続き、すぐに定員一杯となりました。

第1回（9月12日）は、開講式も兼ねて尼崎ボランティアセンターのコーディネーター寺本美津枝さんに『誰でもできるボランティア活動』と題して、多様なボランティア活動を実践に基づいてわかりやすく紹介していただきました。

第2回（9月26日）は、日本セラピューティック・ケア協会の秋吉美千代理事長をはじめ4人の講師の方々に、ハンドケアの理念と実技を学びました。



第3回（10月10日）は、デイサービスゆんたく管理者の小山健治さんに『車イスの基本動作と移動』と題して、車イスの多様な種類とその基本操作を学びました。



公開講座は、まだ受講できます

『心の病によりそうこと』

講師 三田 優子さん

（大阪府立大学社会福祉学部助教授）

日時 11月18日（土）18：30～20：30

会場 英知大学（サピエチアタワー10階）

◎ お問い合わせ・申込みは

NPO愛逢事務所まで

TEL 06-6493-1424

配食サービス

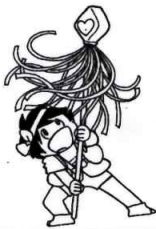
# ボランティア大募集



今年の夏頃から、配食サービス利用者が急増して、嬉しいのですが、ボランティアが足りません。あなたのちょっとした時間と力を貸していただけませんか？

- ① 調理・配膳のボランティア  
月曜日～土曜日 午後1:30～4:30
- ② 配達ボランティア（車および自転車）  
月曜日～土曜日 午後4:00～5:30

お問い合わせ／申し込み 電話：06-6493-1424



## み～んな 集まれ～！

### 第2回 地域交流もちつき大会

今年も地域交流の一環として、もちつき大会を開催します。地域の方々と楽しくにぎやかな一日を過ごしたいと思います。皆さん、お誘い合わせご参加下さい。

日・時	12月 10日（日） 11時頃よりつきはじめます （雨天決行）
会場	虹のふれあいセンター 小中島 1-5-10 電話 06-6497-2786

**\* ボランティア大歓迎！**





# 電動でないベットは介護用品ではない？！



ケアマネージャー 兼行 栄子

10月から、要支援と要介護1の方へのベットの貸し出しが中止になりました。

私がケアプランを立てさせていただいている対象者のほとんどが、引き続き自費でベットを購  
入するかレンタルするかされました。

確かに電動機能を必要とされる方はまれです。

でも、足腰が悪くて布団からは立ち上がりが困難だから自費でもベットが必要なのです。

高価な電動ベットの貸し出しは確かに介護保険の無駄使いかもしれません。でも、ベットは身体機能の衰えと共に日常生活になくはならない物となっているのです。電動機能はいらない、でも、ベットの機能は必要だから、モーターのない物を貸し出してはもらえないかと介護保険課に申し出ました。

「電動機能の無いベットは介護用品とはいえない」

と言うのが介護保険課の返事でした。というか、厚生労働省の見解のようです。

介護用品って一体何でしょう。自立を助けるのにベットは本当に役立っています。単なる家具のひとつではなく、立派な介護用品だと私は思いますが皆様いかがでしょうか。

要介護2以上の方でも電動機能が不要の方は沢山居られます。

介護保険料の節約を考えるなら、本当に電動機能が必要な人にだけ貸し出し、電動機能はいらないがベットは必要という人にはモーターのないベットを介護用品として貸し出してほしい、と言うのがケアマネとしての私の主張であり願いでもあります。

<事例1>腰痛を持つ要介護1の女性。

「ベットが無くては私は暮らしていけない」

10月から介護保険でベットが借りられなくなる、という情報を聞いた時からずっとそのことを言い続けてこられました。

そして、10月を目前にしてこれからどうするの

かを、具体的な方法を何通りかお示ししながら選んでいただきました。

自費で1500円程度払うのは辛いけど(1割負担の不要な方)それでも、借りる、という方法を選ばれました。

その旨、業者に連絡する、9月末に業者に念のための連絡を入れると「もう引き上げてよい」と言われました、との返事。

あれだけベットがなくては暮らして行けないと言われていたのにどういふ話になってしまったのだろうか訪問する。

「貸してくれるというベットは今のよりずっと幅が狭い。最初に借りたものと同じで落ちて難儀して幅広と交換してもらっていた。」

そして、お友達が来たときに座って談笑していたというソファベットを寝室に持ち込み布団を重ねて使うことにされていた。

寝させてもらったが、決して寝心地が良いとは言えない。

ご本人に寝て起きてみてもらった。

寝る時はまだ良いが、起き上がりは、横になりながらソファから落ちるようにして膝を突き布団に掴まってやっと立ち上がっておられた。

厚生労働省は、これでも「ほら、ベットがなくなっても生きていけるじゃないか」って言うんでしょかね。

生きていけるかどうか、介護保険が無い時代だってみ～んな生きて来たんですよ。

限られた財源、確かに無駄使いはいけませんよ。これからどんどん使いたい人ばかりが増えて、パンクしてしまっては困りますからね。

節約は大事です。でも何のための介護保険か、よ～く考えてもう少し血の通った物にするために、保険者である尼崎市が独自の裁量をしても良いのではないのでしょうか？

全部を文章化しないで現場をみて判断する部分があっても良いようなきがしますが、皆様いかがお考えでしょうか。



撮影 物部 功さん

2006年度寄付金寄贈者

永田 エイコさん  
後藤 順子さん  
秋吉 美千代さん



当会の趣旨にご賛同頂き、  
ご協力頂きましたことを熱く  
お礼申し上げます。

第2弾 セラピューティック・ケア充実編

ボランティア講座の第2回目の講座でセラピューティック・ケアのさわりを教えていただきました。もっと深く知りたいという要望が多く、早速充実編を下の要項で企画しました。さわりを受けられていない方でもご参加いただけます。

日時；11月6日（月曜日）9時～15時

費用 5000円

場所 英知大学

申し込みは愛逢へ

ホ ッ ト 待 夢



暑かった夏も終わり、やっと秋の気配を感じる頃になりました。体育大会、文化祭、各種イベント等にぎわっている地域もありますね。

先日、尼崎スポーツの森で開催された「フェニックス秋祭り」に参加して間近で花火を見物しました。最近の花火は彩りがとてもカラフルで往く夏からの贈り物のようで、美しい思い出となりました。

< 姦娘 >

店先に「マツタケ」が沢山並んでいるので匂ってみると「まずまず」の香りを放っている。

秋の味覚の王者ならば年に1度は買って楽しみたいと思うのだが今年は考えてしまう。放射能汚染はしていないのだろうか…と心配である。

東アジアの平和と安全のために「核」は必要と声高に仰しゃるようだが、互いにアジアに在る国として、核がなくても平和と安全が守れる方法はあるはずと思うのだが。

そして、平和の使者としての「マツタケ」を喜んで食べることが出来る日の早く来ることを願っている。

< 淑女 >